

「日本酒を世界酒に」を目指す株式会社WAKAZE、法人カード「UPSIDER」利用により50%の消耗品コスト削減を実現

証憑提出リマインドにより証憑回収率がアップ、経費申請漏れゼロに

「挑戦者を支える世界的な金融プラットフォームを創る」をミッションとする株式会社UPSIDER（本社：東京都港区、代表取締役：宮城徹・水野智規、以下 当社）が提供する法人カード「UPSIDER」（以下 UPSIDER）が、日本酒スタートアップである株式会社WAKAZE（本社：東京都世田谷区、代表取締役：稲川琢磨）に導入、活用されています。

株式会社WAKAZEは「日本酒を世界酒に」をビジョンに「世界中でSAKEが造られ飲まれる世界」の実現を目指しています。同社がパリ近郊に設立した醸造所「KURA GRAND PARIS」でも現地の食文化や流行を取り入れながら、フランス産の米と水、酵母を使った酒造りを行っています。同社は、UPSIDERの利用により経理業務効率化、消耗品コスト半減、経費申請漏れゼロを実現しました。

**WAKAZE****UPSIDER**

株式会社WAKAZE ご担当者のコメント

UPSIDERの導入背景や導入の成果について、株式会社WAKAZE コーポレートマネージャー 渡邊 悟氏は次のように語ります。

私の入社当時、経理のオペレーションは“カオス”と言ってもいいほどの状況だったと思います。経費申請フローが徹底されておらず、クレジットカードも1つのカード番号を共有しているなど、セキュリティ面での課題がありました。また、コストやその管理に対する従業員の意識も不十分でした。

バーチャルカードを発行し用途ごとに紐付けができることや、管理画面で利用額の推移を確認できること、事後申請も簡単にできること、Slackでの明細リアルタイム通知やメールでの証憑提出リマインドができること、証憑回収を手間なくできることなどを魅力に感じ、UPSIDERを導入しました。Slack上で明細の通知を閲覧できる方や通知を送るカードを自社に合わせてカスタマイズできるのも魅力ですよね。

UPSIDERを使い始めてから、消耗品費のコストが半分程度になったのには驚きました。1件1件は少額ですが、意識が向かないとチリツモで大きな無駄遣いになってしまいます。決済タイミングでSlack通知がされるなど、UPSIDERにより透明性を担保できたことで、「必要以上に買い込まない」といったように、従業員のコスト意識が変わったのだと思います。システム面とマインド面で変革が起き、経費申請の漏れは0になりました。UPSIDERによる「守り」のメリットですね。

以前利用していたクレジットカードは月末締めではなかったため、月次決算のサイクルにズレが発生していました。取りこぼしがあったり、明細を取得できるのが遅かったりとデメリットが多かったため、作業負担はありますが可能な限り請求書払いに寄せていました。UPSIDERカード導入後はそうした問題も解消されたので、クレジットカード決済にスイッチし、経理処理の手間も省けています。導入前に比べ、証憑回収率も高くなりました。管理画面から回収状況が把握でき、未回収の明細には都度リマインドメールを送ることができています。

(以上、導入事例のインタビューページより抜粋・再構成しています。導入事例はこちらよりお読みいただけます：<https://userstory.up-sider.com/posts/wakaze>)

株式会社WAKAZEに導入・活用いただいている法人カード「UPSIDER」は、リアルタイムでの利用明細連携をはじめ、経理業務の効率化に繋がるさまざまな機能や、最大10億円以上の利用限度額の提供を通し、挑戦者を応援しています。今後も、成長企業のスピード感や合ったサポートや機能リリースを続け、当社 ミッションである「挑戦者を支える世界的な金融プラットフォームを創る」の実現を目指してまいります。

法人カード「UPSIDER」について

UPSIDERは、利用限度額や会計処理などの財務課題を解決する法人カードです。特に、最大10億円以上の利用限度額（前払い・後払い）や、バーチャルカードの発行・管理機能、会計処理の早期化を助けるSaaS機能が好評で、アクティブな利用企業は数千社以上、利用継続率は99%以上、累計決済額は2,500億円を突破しています。

サービスページ

さらに、上場企業のお客様が急増しています。決済だけではなく、決済前の利用先制限・上限設定・稟議申請など決済前の手続きから、決済後の利用履歴の即時管理画面反映、証憑回収・紐付け、稟議への紐付け、Slack連携による通知・証憑提出といった、一気通貫した幅広い機能が好評で、法人カードを安全に運用することが可能になっています。ガバナンスやアカウントビリティが重要な上場企業のお客様にとって、全社的な支出管理の厳格化、経費精算業務の簡略化、会計処理の早期化に繋がられます。

UPSIDERカードの機能・特徴

UPSIDER

スタートアップから上場企業に向けてワークフローや支払い管理機能を幅広く提供

決済前

利用先の制限

利用額の上限設定

稟議申請

稟議に紐づいたカード発行

発行枚数の上限なし

運用関連

権限設定

カードのグループ機能

優待・ポイント還元

スマホアプリでのカード管理

独自の与信枠

決済後

証憑回収・紐付け

Slack通知・証憑提出

スマホアプリ通知

会計システムへの連携

freeeへの証憑のAPI連携

稟議との紐付け

SaaS管理

当社が提供するサービスについて

Our Product

私たちのサービス

UPSIDER



UPSIDER

UPSIDERは、当社が提供する利用限度額や会計処理などの財務課題を解決する法人カードです。特に、最大10億円以上の利用限度額（前払い・後払い）や、バーチャルカードの発行・管理機能、会計処理の早期化を担うSaaS機能が好評で、アクティブな利用企業は数千社以上、利用集約率は99%以上、累計決済額は1,500億円を突破しています。

<https://up-sider.com/jp/>



支払い.com

個人事業主・法人企業を対象とした「支払い.com」は、企業間の取引におけるあらゆる銀行振込のお支払いを、ユーザーがお持ちのクレジットカードで決済できるサービスです。お支払いをクレジットカードのお引落しまで延長することで、ユーザーは資金繰りの改善が可能となります。また、ユーザーは書類の提出や電話、審査は必要ありません。

<https://shi-harai.com/>

当社は、「挑戦者を支える世界的な金融プラットフォームを創る」をミッションに、法人カード「UPSIDER」およびビジネスあと払いサービス「支払い.com」を提供しており、両サービスの利用社数は35,000社を超えています。

個人事業主・法人企業を対象とした「支払い.com」は、企業間の取引におけるあらゆる銀行振込のお支払いを、ユーザーがお持ちのクレジットカードで決済できるサービスです。お支払いをクレジットカードのお引落日まで延長することで、ユーザーは資金繰りの改善が可能となります。ユーザーは書類の提出や面談、審査は必要ありません。

支払い.com

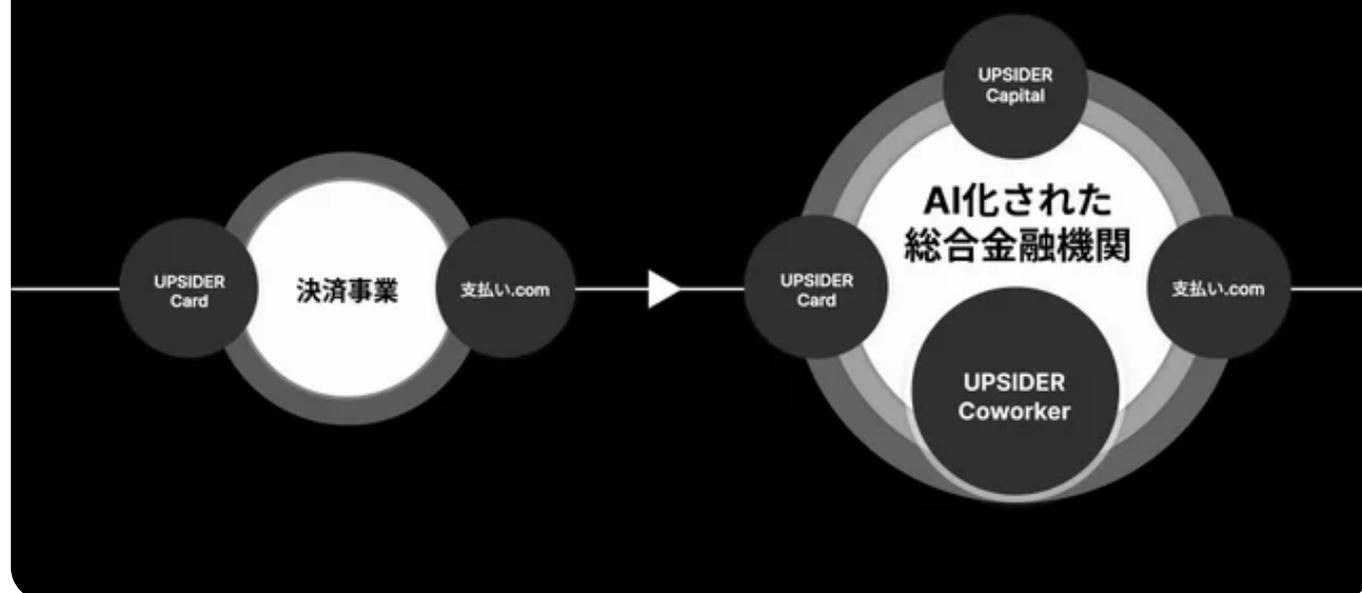
また、2023年9月には新たにAIチャット型業務ツール「UPSIDER Coworker」をリリースしました。SlackやMicrosoft Teamsなどのチャットツールと連携し、ほぼ全てのカード関連業務をAIと人が自動化します。

UPSIDER Coworker

さらに、グロースステージ以降のベンチャー企業に対する融資を進めていくための子会社「株式会社UPSIDER Capital」を2023年5月に設立。大手金融機関とタッグを組んだ「UPSIDER Capital」は、資金面でも企業を支えます。

詳細を見る

当社は、『成長企業を支援する法人カード「UPSIDER」を提供する会社』から、『世界で戦える日本企業を生み出し、日本の競争力を再び上げることを支援する、AI化された総合金融機関』へと進化してまいります。



会社概要

社名：株式会社 UPSIDER

Web：

法人カード「UPSIDER」：<https://up-sider.com/>

請求書カード払いサービス「支払い.com」：<https://shi-harai.com/>

AIチャット型業務ツール「UPSIDER Coworker」：<https://ai-coworker.up-sider.com/>

「UPSIDER BLUE DREAM Fund」：<https://capital.up-sider.com/>

お役立ちコンテンツ：<https://up-sider.com/media/>

設立：2018年5月

代表者：宮城 徹、水野 智規

資本金：8,794百万円（資本準備金等含む）

本社所在地：東京都港区六本木 7-15-7

加入協会・認定：一般社団法人日本資金決済業協会、セキュリティ認定 PCI DSS v3.2.1、
 JIIMA認証「電帳法スキャナ保存ソフト法的要件認証」

本件に関するお問い合わせ先

ご導入のご相談や、取材申し込み、提携のご連絡は、pr@up-sider.com までご連絡ください。

※ 本プレスリリースに記載された情報は、発表日現在のものです。

株式会社UPSIDERのプレスリリース一覧

https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company_id/76272

取材申し込み、提携のご連絡は、pr@up-sider.com までご連絡ください。

また、お電話は 080-7111-7671（広報担当者直通：五十川）までお願いいたします。